

# 令和5年（2023年）度上期（4月～9月）胆振管内観光入込客数の状況について

令和6年（2024年）1月  
北海道胆振総合振興局

## 【概要】

令和5年（2023年）度上期の観光入込客数は、10,164.5千人で、前年度同期（8,307.3千人）と比べて1,857.2千人の増加（前年度同期比122.4%）となり、コロナ禍前の令和元年（2019年）度同期（10,270.8千人）との比較では106.3千人の減少（令和元年(2019年)度同期比99.0%）とほぼ令和元年（2019年）度の水準に戻っています。

令和5年（2023年）5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したほか、全国旅行支援事業の「HOKKAIDO LOVE！割」実施期間の延長や各地のイベントが通常開催に戻ったことなどが増加要因と考えられます。

## （道外・道内別）

道外・道内別では、道外観光客は3,561.2千人（構成比35.0%）で、前年度同期（2,031.9千人）から1,529.3千人の増加（前年度同期比175.3%）、令和元年（2019年）度同期（3,610.4千人）との比較では49.2千人の減少（令和元年(2019年)度同期比98.6%）となっています。

道内観光客は6,603.3千人（構成比65.0%）で、前年度同期（6,275.4千人）から327.9千人の増加（前年度同期比105.2%）、令和元年（2019年）度同期（6,660.4千人）との比較では57.1千人の減少（令和元年(2019年)度同期比99.1%）となりました。【資料1】

## （日帰り・宿泊別）

日帰り・宿泊別では、日帰り客数は8,726.6千人（構成比85.9%）で、前年度同期（7,187.6千人）から1,539.0千人の増加（前年度同期比121.4%）、令和元年（2019年）度同期（8,785.9千人）との比較では59.3千人の減少（令和元年(2019年)度同期比99.3%）となっています。

宿泊客数は、1,437.9千人（構成比14.1%）で、前年度同期（1,119.7千人）から318.2千人の増加（前年度同期比128.4%）、令和元年（2019年）度同期（1,484.9千人）との比較では47.0千人の減少（令和元年（2019年）度同期比96.8%）となりました。

宿泊客延べ数は、1,544.9千人泊で、前年度同期（1,232.9千人）から312.0千人泊の増加（前年度同期比125.3%）となっており、令和元年（2019年）度同期（1,612.8千人）との比較では67.9千人の減少（令和元年(2019年)度同期比95.8%）となっています。【資料1】

## 【資料1】令和5年（2023年）度胆振管内観光入込客数内訳

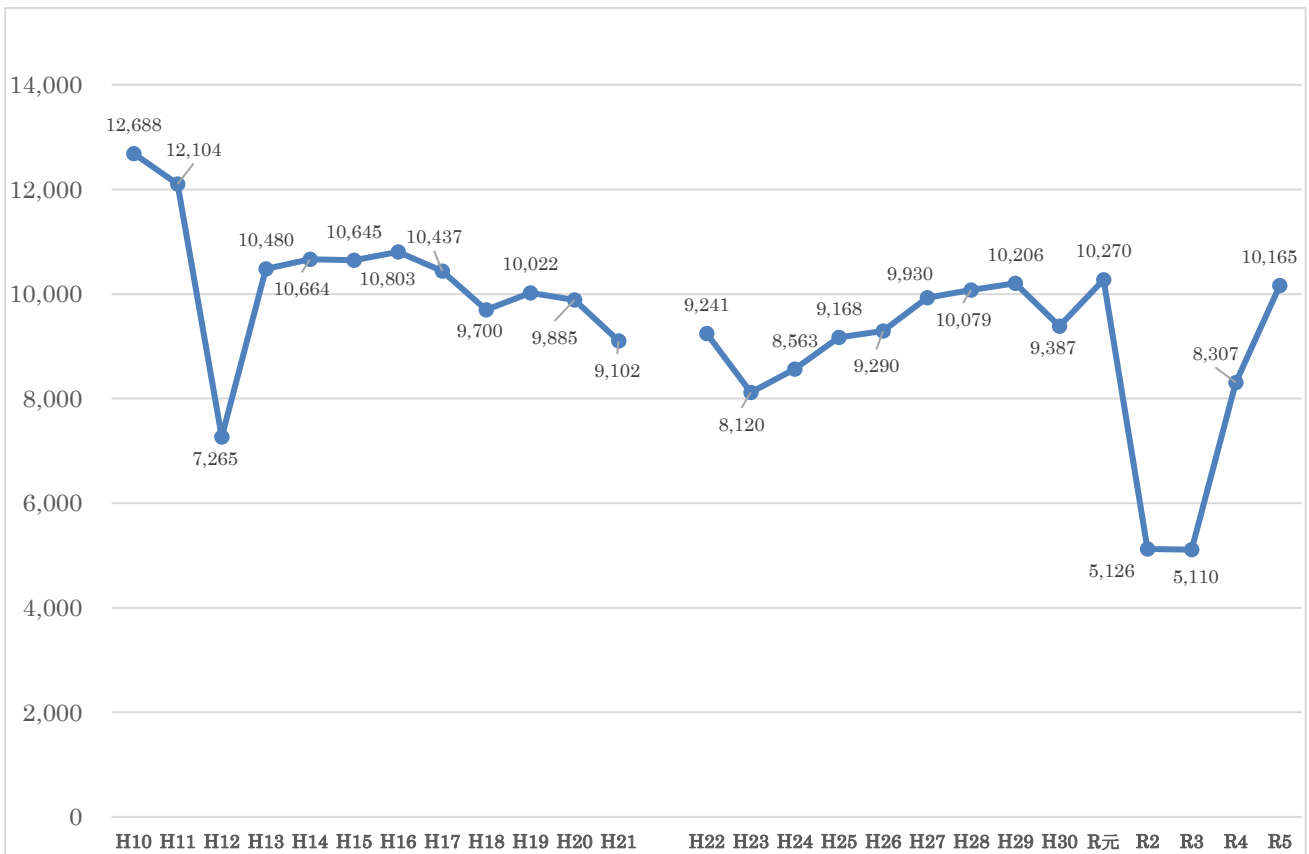
（単位：千人、千人泊）

区分	令和5年 (2023年)度上期 観光入込客数		前年度 同期比	前年度上期 からの 増減数	令和元年 (2019年)度上期 観光入込客数	令和元年 (2019年)度 同期比	
		構成比					
道内・ 道外別	道外客	3,561.2	35.0%	175.3%	1,529.3	3,610.4	98.6%
	道内客	6,603.3	65.0%	105.2%	327.9	6,660.4	99.1%
日帰り・ 宿泊別	日帰り客	8,726.6	85.9%	121.4%	1,539.0	8,785.9	99.3%
	宿泊客	1,437.9	14.1%	128.4%	318.2	1,484.9	96.8%
入込総数(千人)		10,164.5	100.0%	122.4%	1,857.2	10,270.8	99.0%
宿泊客延べ数(千人泊)		1,544.9	—	125.3%	312.0	1,612.8	95.8%

なお、参考として、平成10年（1998年）度からの観光入込客数の推移【参考資料1】、令和元年（2019年）度からの4力年半における観光入込客数の月別の推移【参考資料2】を掲載しています。

【参考資料1】胆振管内観光入込客数の推移（H10年度～・上期のみ）

（単位：千人）



※平成22年（2010年）度より観光庁が実施する「共通基準による観光入込客統計」により調査を実施のため、平成21年（2009年）度以前との単純比較はできません。

【参考資料2】胆振管内観光入込客数の月別推移（R元年度～R5年度上期）

（単位：千人）

